

『Mind Charging』

第 64 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 6 月 24 日

ドリー・パートンの名言



Nobody's gonna live for you.

あなたの人生をかわりに生きてくれる人はいないわ。

カントリーミュージック界史上、最も称賛されている女性アーティストだけあって、歌詞やドラマの台詞で使われそうなカッコいい言い回しです。『君は君でいいんだ』と言われたような安心感と、自分の人生への責任感を湧き上がらせ、『頑張って挑戦しよう！』という勇気を与えてくれるようなパワーも感じさせてくれます。

この言葉を聞いて、一般人とは違うキラキラした世界の住人である彼女も、あくまで私たちと同じように自分の人生の中で見つけた“目標”に向かって頑張ってきたから今があるのです。最初はみんな初心者ですし、プロアスリートも最初はみんな素人でした。そういう意味では、目標とすることの内容によって、社会への影響力や注目度に違いはあると思いますが、それを目標の大きさやレベルの違いと捉えるのは違うのではないのでしょうか。重要なのは、自分の人生を充実させたいという気持ちから生まれる、それぞれの目標に対する『熱量』の問題だと思います。

以前このコラムで紹介した元 NBA プロバスケットボール選手である『マイケル・ジョーダン』は、『第二のマイケル・ジョーダン』は現れないだろう。そして、私も他の選手にマイケル・ジョーダンになれとは言わない。』という言葉を残しています。この言葉も、ドリー・パートンの言葉と同じ気持ちから生まれた言葉だと思います。よく、『〇〇の再来』などと称されることもありますが、みなさんは他の誰でもなく、誰にもみなさんの代わりはできません。また、誰にもみなさんの人生や持っている目標に対して優劣をつけることや否定する権利はありません。それぞれが、それぞれの人生を認め合っていくことができれば、もっと目標に対して臆することなく挑戦できる人も増え、結果的に世界が驚くような大きな成果をもたらすことに繋がるかもしれません。

日本人の多くは、人にはポジティブな言葉をかけてあげることはできますが、自分を認めてあげることが苦手な人が多いように感じます。『自己肯定感』を高め、自信を持って自分の人生を歩んでいきたいものですね。自分にしか自分の人生は生きられないですし、自分のプロデューサーは自分なのですから。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ドリー・レベッカ・パートン(Dolly Rebecca Parton, 1946年1月19日 -)は、アメリカ合衆国のシンガーソングライター、女優、作家、事業経営者、人道支援家。カントリーミュージックの第一人者として知られている。(Wikipedia 参照)